

第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)

<色別表示の見方>  
■: 目標の推移が「順調」  
■: 目標の推移が「概ね順調」  
■: 目標への進行状況が「やや遅れている」  
■: 目標への進行状況が「遅れている」

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1			貸し館系施設の利用件数	件/年	8,705 [H22]	9,500	目安値	8,864	9,023	9,182	9,341	本目標の対象施設となっていない市民創縁センターの完成により使用できる施設が増えたため、利用者は前年と比較し減少となった。しかしながら、芸術文化への関心の高まりや高齢者等の余暇利用など、貸し館利用のニーズは高いことから目標値は達成しており、計画最終年度の達成も見込まれる。 (対象施設：生涯学習センター、コスモホール、交流文化館浅科)	利用しやすい施設とするため、コスモホールの施設修繕を進めるとともに、文化事業を実施する者への補助制度(芸術文化活動事業補助金)を継続する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。	
							実績値	9,889	10,916	11,801	11,100					
							評価	順調	順調	順調	順調					
2	111	文化・芸術	観覧系施設の延べ入館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	目安値	39,075	39,306	39,538	39,769	旧中込学校は、平成26年度の全期間と平成27年度の4か月間、改修工事のため休館しており、大きな減少要因となった。また、他の施設に関しては、展覧会等の企画の充実に取り組んだ結果、若干の増加となっている。特殊要因はあったものの全体では目標を大きく下回っており、計画最終年度の達成は難しいと見込まれる。	展示・展覧会の企画を充実させるとともに、講演会やワークショップなどの講座を引き続き開催し、入館者の増加に取り組む。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
							実績値	35,802	35,802	27,040	35,467					
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている					
3			少年考古学教室参加者数	人/年	67 [H22]	80	目安値	70	72	75	77	考古学教室参加者へアンケートを実施し、参加者ニーズを踏まえた教室(勾玉づくり)を開催したところ大幅な増加となった。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	文化財への関心を高めるため、学校への出土品の貸出を行うなど、埋蔵文化財に触れる機会の拡充を図るとともに、引き続きアンケートを実施することにより、参加者のニーズに合った考古学教室の開催に努める。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。	
							実績値	78	87	31	81					
							評価	順調	順調	遅れている	順調					

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移										審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	結果の分析	今後の方針	備考	
4			国際交流フェスティバル延べ参加者数	人/年	2,800 [H22]	3,500	目安値	2,940	3,080	3,220	3,360	ポスターやチラシにQRコードを入れるなど周知方法にも工夫をしたが、駐車場の確保等の課題もあり、来場者数は目標値を下回った。駐車場の確保や周知により、計画最終年度の目標の達成を目指す。達成は難しいと見込まれる。	広報の仕方は、QRコードで情報を広げるとともに、メディア等も利用しながら、各活動団体からの周知も行う。また、会場周辺を含め、参加しやすい環境を整え、魅力的な内容を精査し、参加者の増加を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。
			実績値	2,750	2,500	2,800	2,800	評価	遅れている	遅れている	遅れている				
5	112	地域間交流・国際交流	国際交流サロン延べ参加者数	人/年	319 [H22]	400	目安値	335	351	368	384	ボランティア団体の参加が増えていないことから、開催回数、内容が限られており目標を下回った。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	マンネリ化を防ぐため、サロンの内容を精査し、交流を生むイベント事業はボランティア団体を中心に、生活のサポート的内容は行政も関わりながら、サロンの回数も含め充実を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえて計画期間内の努力をして欲しい。
			実績値	309	328	228	296	評価	遅れている	やや遅れている	遅れている				
6			空き家バンク掲載物件の契約成立件数	件/年	39 [H22]	50	目安値	41	43	46	48	事業提携している宅建協会が独自に移住セミナーを開催するなど、協力体制が強化されたことや、移住交流相談員を2名体制とし、土日の対応を行ったことにより、実績を大幅に伸ばすことができた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	利活用可能な空き家の掘り起こしによる空き家バンクの充実を図るとともに、希望者のニーズに合った定住促進に努める。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。
			実績値	47	59	45	75	評価	順調	順調	概ね順調				
7	113	人権尊重社会	人権教育・啓発事業などの延べ参加者数	人/年	8,105 [H22]	8,500	目安値	8,184	8,263	8,342	8,421	区や学校・保育園等に対して、学習会や講座について積極的な呼びかけを行ったことで、参加者の増加に結びついた。また、人権・男女共生フェスティバル時に著名な講師を招くことができたことにより、参加者増加につながった。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	人権を尊重する明るいまちづくりを推進するため、市民、学校、行政などが一体となり、人権講座、学習会を開催することで、人権意識の高揚を図る。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。
			実績値	11,033	10,135	10,989	11,078	評価	順調	順調	順調				
8			隣保館活動などの延べ参加者数	人/年	5,227 [H22]	5,300	目安値	5,242	5,256	5,271	5,285	広く市民に情報提供することにより、目標とする成果は得られた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	各隣保館で開催している講座等を、それぞれ身近な地域の実態やニーズに合わせた内容を取り入れ引き続き実施する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。
			実績値	6,025	6,073	5,711	5,987	評価	順調	順調	順調				

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
9	114	男女共同参画社会	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.1 [H22]	25.0	目安値	19.5	21.0	22.2	23.6	各課へ女性委員の登用に努めるよう推進しているが、女性委員の登用率は伸び悩んでいる。計画期間内の登用率は増加傾向にあるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	女性の意見を方針決定過程に生かすため、意識改革に努めているが、成果はすぐに表れるものではなく、目標値に近づくように機会あるごとに各課の協力を呼びかけるとともに、一般公募の中に率先して手を挙げ活躍していけるような女性の人材育成を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
							実績値	19.7	20.5	22.6	22.5					
							評価	順調	概ね順調	順調	概ね順調					
10	122	学校教育	小学校不登校児童の割合	%	0.36 [H22]	0.32	目安値	0.35	0.34	0.34	0.33	教育委員会設置の不登校等対策連絡協議会による不登校対策提言(H25)、事例集(H26・27)の発信、学校の不登校担当者を集めた担当者会議を年3回開催(H26より)するなど教職員のスキルアップや情報共有の場を創出した。また、各学校では、担任一人で悩みを抱えず学校がチームとして動く事で早期対応に努めているが、目安値に達していない。計画最終年度の目標の達成についても難しいと見込まれる。	学校や庁内関係部署、関係機関との連携を密にし、児童の家庭環境の大きな変化をいち早くつかみ、適切な対応をしていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
							実績値	0.51	0.60	0.44	0.56					
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている					
11			中学校不登校生徒の割合	%	3.24 [H22]	2.74	目安値	3.14	3.04	2.94	2.84	関係機関との連携をより深める努力をしたところ、不登校生徒の数は減少した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれるが、今後も継続した対応が必要である。	日々の欠席状況の把握や生徒との教育相談の機会を定期的に設けることなどに重点を置き、不登校状況を未然に防ぐための努力をしていく。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	
							実績値	3.35	3.46	2.31	2.07					
							評価	遅れている	遅れている	順調	順調					
12	123	高校教育・高等教育	奨学金制度利用者数	人/年	32 [H22]	40	目安値	34	35	37	38	平成25年度に償還方法が選択できるように運用を変更し、利用者数の増に努めた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	平成27年度に条例等の一部改正を行い、平成29年度の新規償還者から一定の要件を満たした場合に償還金の一部免除を行う。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	
							実績値	21	49	72	81					
							評価	遅れている	順調	順調	順調					

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
13	124	青少年の健全育成	各地区の育成活動への延べ参加者数	人/年	183,139 [H22]	184,000	目安値	183,311	183,483	183,656	183,828	児童数は減少傾向にあり、平成27年度には児童数が0になってしまった区が2区あるなど、子どもの育成会活動への参加延べ人数は減少傾向となっている。単独で育成会活動が困難である区については、隣接区等と合同で活動するなどの工夫も行っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	育成会活動や地域体験活動をさらに推進するためには、各地域での育成推進員の資質向上に努めるとともに、更なる育成会活動の取組に対するアドバイスや他地区との合同開催の提案等による支援を推進する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
							実績値	167,007	146,429	177,141	176,720					
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている					
14		生涯学習市民のつどいなどのイベント延べ参加者数	人/年	31,394 [H22]	32,000	目安値	31,515	31,636	31,758	31,879	佐久市文化事業団・中央公民館等で前年度より15件多い新規イベントを開催したことなどから目標値を大きく上回った。引き続き各所管課と連携し、事業の開催と情報発信を行っており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	生涯学習の機会に関わる情報の提供については、手法、場所等の工夫を重ねて行く。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まされたい。		
						実績値	29,371	37,380	28,834	37,222						
						評価	遅れている	順調	遅れている	順調						
15	131	生涯学習	公民館事業別延べ参加者数	人/年	37,106 [H22]	38,000	目安値	37,285	37,464	37,642	37,821	新規講座にも取り組んでいるものの、効果的なPR不足もあり、参加者の増加に繋げることができなかった。年々参加者が減少傾向にあり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	講座参加者へのアンケート調査を実施することで市民ニーズの把握に努め、魅力ある講座を企画するとともに効果的なPRを実施する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
							実績値	33,978	25,733	28,898	27,557					
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている					
16		図書などの貸出し冊数	冊/年	531,901 [H22]	600,000	目安値	545,521	559,141	572,760	586,380	平成26年7月の読書通帳の導入による市民の継続した読書活動の促進を行うとともに、平成27年11月からはインターネット予約も開始し、本を借りやすい環境づくりに努めた。これらによりいったん減少した貸出冊数は増加に転じているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	多様化する市民ニーズに対応した図書資料収集のため、適切な選書を行う。また、市民の読書活動推進と、図書館通いの習慣化のためのきっかけづくりとなるようなサービスを、今後もさらに工夫し、実施していく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。		
						実績値	583,206	534,284	573,643	573,891						
						評価	順調	遅れている	順調	概ね順調						

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
17			スポーツ教室延べ参加者数	人/年	4,225 [H22]	5,000	目安値	4,380	4,535	4,690	4,845	評価はやや遅れているとなったが、教室数を増やしたり、教室内容を見直す等により、目標値の達成が見込めるところまで来ている。今後も予定されている教室の周知等を進めることにより、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	より市民が参加しやすい教室にするため、今後も市民ニーズに合った教室の開催を推進する。	達成見込み	幅広いスポーツへの門戸を開くよう、今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。	
							実績値	4,328	3,046	3,448	4,714					
							評価	概ね順調	遅れている	遅れている	やや遅れている					
18	132	スポーツ	スポーツ大会延べ参加者数	人/年	15,912 [H22]	17,500	目安値	16,230	16,547	16,865	17,182	大会の運営方法等工夫を重ねながら実施したことにより、増加傾向となっているが、評価は遅れている。今後大きな伸びは期待できないため、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	参加者が増える大会となるよう参加資格や対象年齢、大会運営方法等について検討する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
							実績値	13,453	13,644	13,042	13,840					
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている					
19			体育施設延べ利用者数	人/年	631,300 [H22]	700,000	目安値	645,040	658,780	672,520	686,260	佐久総合運動公園マレットゴルフ場で年間券を新設するなど、利用者ニーズに則した改善が、延べ利用者数の増加に繋がった。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	利用率の向上と利用者数の増加を図るため、体育施設の概要や予約状況などの情報提供に努めるとともに、施設の長寿命化計画を策定する中で、計画的な施設整備を実施していく。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。	
							実績値	635,910	686,948	680,040	740,511					
							評価	やや遅れている	順調	順調	順調					

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見				
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度									
20	211	高速交通ネットワーク	長野新幹線の延伸 (長野-金沢間の開業)		未開業 [H22]	開業							平成27年3月に金沢まで延伸開業がされた。平成27年1月に政府与党申し合わせで、敦賀までの完成目標が34年度とされた。	北陸新幹線金沢・敦賀間の早期完成と大阪までの早期整備を促進する。	達成	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。				
21			中部横断自動車道佐久南インターチェンジ-八千穂インターチェンジ(仮称)間の開通		未開通 [H22]	開通							本区間について、平成26年4月に国土交通省より平成29年度に開通と公表された。	29年度開通に向けて、道水路整備事業、中部横断自動車道調整事業を進捗させる。併せて、県施行の県道上小田切白田停車場線アクセス道の整備を促進していく。		今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。				
22			中部横断自動車道八千穂インターチェンジ(仮称)から長坂ジャンクション(仮称)間の整備計画格上げ		基本計画区間 [H22]	整備計画区間								計画段階評価が行われルート帯案が決定し、対応方針案が発表された。次に環境影響評価となり、整備計画区間への格上げの段階となる。	中部横断自動車道の早期実現に向けた提言活動を引き続き推進する。		今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。			
23	212	地域交通ネットワーク	幹線道路整備延長	m	4,731 [H22]	8,231	目安値 実績値 評価	5,431	6,131	6,831	7,531	6,127	7,440	8,034	8,280	湯原新田線、比田井の市道が予定通り事業完了した。双方ともに、確定延長は計画構想時に比べ伸び、目安値以上となった。既に目標値の達成が図られている。	東西幹線第3期工区、長者原地区のボトルネックの整備などにより地域幹線道路の整備に努める。財源確保、コスト縮減に努め、整備延長を確保する。	達成	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。	
24			都市計画道路整備延長	m	59,527 [H22]	63,377	目安値 実績値 評価	60,297	61,067	61,837	62,607	62,635	64,160	65,219	67,136	67,136	中部横断自動車道の整備が進んだことにより、既に目標値の達成が図られている。	佐久南インター線、国道141号線浅蓼大橋の4車線化に向けて取り組んでいく。	達成	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。
25			アダプトシステム管理箇所数	箇所	3 [H22]	19	目安値 実績値 評価	6	9	13	16	16	17	17	19	19	街路新設に併せて地元団体等にアダプトシステム事業の説明会を実施したことにより、新たに2団体が事業に参加し、既に目標値の達成が図られている。	新設の道路以外の既存の道路についても、アダプトシステム事業の導入推進を図る。	達成	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。
26			公共交通延べ利用者数	人/年	113,538 [H22]	125,000	目安値 実績値 評価	115,830	118,123	120,415	122,708	108,768	103,595	103,023	104,871	104,871	平成26年10月のダイヤ改正により、年々減少していた利用者が増加に転じたが、市内巡回バスが曜日運行で利便性に欠けることや車社会の進展により利用者数の大幅増加とはならなかった。計画最終年度も運行体系は同一であるため、目標の達成は難しいと見込まれる。	高齢化の進行や市民ニーズの把握、現状の検証等を基に新たに地域公共交通網形成計画を策定し、将来にわたって持続可能な効果的・効率的な公共交通ネットワークの構築を推進するとともに、鉄道との接続性の向上や利用促進キャンペーン等の広報活動を行い利用促進を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。また、分かりやすく利用しやすい公共交通体系の構築を進められたい。

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
27	221	土地利用	宅地面積	ha	2,337 [H21]	2,492	目安値 実績値 評価	2,368 2,378 順調	2,399 2,386 概ね順調	2,430 2,404 概ね順調	2,461 2,418 やや遅れている	宅地への転換は進んでいるものの、目安値の伸びに比べて、実績値の伸びが小さくなっており、経済環境や人口減少が影響していると思われる。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	目標に向けて、引き続き宅地への転換を促進するための取組を進めていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
28	222	市街地	跡部臼田線・龍岡城駅線の整備率	%	0.4 [H22]	100	目安値 実績値 評価	20 32.46 順調	40 46.18 順調	60 78.24 順調	80 78.24 概ね順調	事業計画に沿って事業の進捗を図っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	事業完了に向けて、今後も事業を進めていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
29	223	住宅・宅地	住宅マスタープランの策定		未策定 [H22]	策定	目安値 実績値 評価	部分的策定 未策定 遅れている	部分的策定 部分的策定 やや遅れている	部分的策定 部分的策定 やや遅れている	部分的策定 部分的策定 やや遅れている	公営住宅に関しては平成26年3月に佐久市公営住宅長寿命化計画を策定し、公営住宅の維持管理を推進している。また、個人の持ち家が対象となる空き家対策計画については、平成28年度から現地調査を開始することとなっているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	市の公共施設マネジメント基本方針における公共施設再配置計画や、第二次総合計画、さらに県の長寿命化計画の見直し状況等を勘案しながら、平成32年度以降の長寿命化計画の見直しを踏まえ、策定期間、内容について検討する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
30	231	高度情報通信ネットワーク	電子申請の件数	件/年	289 [H22]	500	目安値 実績値 評価	331 909 順調	373 1,658 順調	416 771 順調	458 777 順調	電子申請システムの活用促進を行ったが、申請可能な項目数、申請件数も微増であった。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	市民生活の利便性と行政サービスの質の向上を図るため、システム導入による効果を検討し、さらなる利用項目、利用者数の増加を図る。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移									審議会意見					
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	結果の分析	今後の方針		備考				
31			認定農業者数	経営体	268 [H22]	310	目安値実績値	276	285	293	302	認定要件の緩和、補助事業等における認定農業者優遇措置の拡大などの制度周知等により、認定農業者数が増加した。評価はやや遅れているとなっているが、増加傾向にあり計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	認定農業者の増加のみならず、個々の規模拡大を図ることで、安定的かつ計画的な農業経営に資する農業者の増加に努める。	達成見込み	今後引き続き施策の充実に取り組むとともに、農業の後継者の確保や育成についても取り組まれたい。				
			農業アシスタント数	人	20 [H22]	70	目安値実績値	30	40	50	60					新規受講者、リピーターとも堅調に推移し、アシスタント数が増加している。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	広報を十分に行い養成数の増加を図るとともに、養成したアシスタントの活用方法を確立し、事業効果の増大に努める。	達成見込み	今後引き続き施策の充実に取り組まれたい。
			農業法人数	法人	16 [H22]	20	目安値実績値	17	18	18	19								
34			農畜産物産出額	億円/年	108 [H18]	110	目安値実績値	データ入手不可能				(本項目は、国が市町村別の統計調査を行っていたが、平成18年度調査を最後に調査が行われなくなった。現在、全国市長会を通じて、国に対し、調査の復活の要望を行っている。)		データは不明であるものの、今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。					
35	312	水産業	佐久鯉出荷量	t/年	110 [H22]	115	目安値実績値	111	112	113	114	若い世代を中心に鯉を食べる習慣が減少してきていることが大きな原因であると考えられる。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	若い世代でも、食べやすいメニューの開発や、和食に限らず洋食・中華等での利用拡大を図れるような消費拡大を検討していく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。				
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている								
36	313	林業	森林整備面積	ha/年	610 [H22]	780	目安値実績値	644	678	712	746	国の補助制度を利用し森林整備を進めているが、長期的にわたる木材価格の低迷により、コストがかかる奥山等の整備が進まない状況となっているため、森林整備面積の実績値が目安値に達していない。最終年度の目標達成は厳しいと見込まれる。	木材の需要拡大に向け、森林組合や県などの関係団体との協議を進める中で、森林整備を推進する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。				
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	集計中								



第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
37	321	商業・サービス	商品販売額	億円/年	1,994 [H19]	2,100	目安値実績値	2,015	2,036	2,058	2,079	未集計	販売額は、平成26年度実績では増加に転じているが目安値まで達していない。 空き店舗対策や地域資源を生かした商品の開発への支援などを行っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	魅力ある商店街の形成支援や、健康長寿などの地域の特徴を生かした商品開発を支援することにより、魅力ある商品のブランド化を図るとともに、積極的なPRに努めることにより、市内外から多くの人を呼び込み、商品販売額の増加を目指す。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。
38	331	観光	市内への延べ入込客数	万人/年	162 [H22]	190	目安値実績値	168	173	179	184	157	入り込み客数は目標値には届かなかったものの、ヒルクライム佐久等の新規イベントや周年事業を拡大して実施したことにより前年よりも数値が伸びた。 計画期間内の推移をみると、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	インターネットや新聞雑誌などによる効果的な広告宣伝や、市外で行われるイベントや販売促進会議などで積極的にPRを図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。 特に、佐久圏域での周遊や外国人観光客への対応を検討するとともに、ペットを連れての旅行、映画やアニメで取り上げられた場所への旅行といった観光客の新たなニーズを踏まえた観光資源の発掘や活用も検討されたい。
39	341	工業	製造品出荷額	億円/年	2,061 [H22]	2,500	目安値実績値	2,149	2,237	2,324	2,412	集計中	平成26年度実績では、増加傾向にあるが、目安値まで達していない。 各種補助事業の活用等の促進等を行っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	平成28年度策定の佐久市健康長寿産業振興ビジョンに基づき、既存産業の振興に加え、医療、福祉関連産業等の振興に取り組む。 併せて、各種補助事業の活用を企業へ促し、目標達成に向け取り組む。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。
40	351	就労・雇用	就職相談会参加者数	人/年	113 [H22]	130	目安値実績値	116	120	123	127	135	就職ガイダンスの参加企業数の増加や、就職支援員による学校訪問により参加者は増加している。 実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	参加企業数の増を図り、就職支援員による、県内、首都圏及び関東近郊の大学、短大等の訪問によりPR活動を行い参加者増を目指す。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。
41			インターンシップ実施学生数	人/年	7 [H22]	15	目安値実績値	9	10	12	13	14	14	受け入れ事業所として、情報サービス系の企業が加わり、学生のニーズとマッチングしたことに加え、就職支援員による大学、短大等の訪問による周知により増加した。 実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	学生のニーズと企業のマッチングが重要であると考え、受け入れ事業所の増加を目指す。	達成見込み

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
42	411	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数	回/年	14 [H22]	16	目安値 実績値 評価	14 10 遅れている	15 16 順調	15 13 遅れている	16 20 順調	多くの学校等に事業の目的を説明し、協力を得て体験教室を開催できた。 実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	今後も多くの学校に事業の目的を理解していただき、体験教室を開催することにより福祉の心を育てる教育を推進する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	
43	412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の延べ参加者数	人/年	19,095 [H22]	23,500	目安値 実績値 評価	19,976 20,000 順調	20,857 23,781 順調	21,738 24,369 順調	22,619 24,520 順調	一般高齢者施策である地区サロンの立ち上げに向けた積極的な働きかけにより、新規に立ち上げた地区が増加するとともに、既に実施している地区においては開催回数の増加が見られ、健康相談の人数が増加した。 実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	自立支援に資する機能回復訓練などの高齢者本人へのアプローチに加え、生活環境の調整や地域の中での居場所と出番づくり等高齢者を取り巻く環境へのアプローチを進めていく。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	
44	413	障がい者福祉	相談支援事業実施事業所数	事業所	5 [H22]	20	目安値 実績値 評価	8 11 順調	11 12 順調	14 14 順調	17 15 概ね順調	福祉サービス事業所に、計画を作成する指定相談支援事業所の開設について働きかけた結果、事業所の増加につながったが、相談支援専門員の資格取得に実務経験年数を要するため、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	障がい(児)者の自立と社会参加のため、相談支援事業所及び相談支援専門員等と連携協力するとともに、引き続き相談支援専門員の資格取得を促進し、相談支援事業実施事業所の増加を目指す。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
45	414	母子父子福祉・低所得者福祉	高等技能訓練促進費・自立支援教育訓練給付金受給者数	人/年	4 [H22]	6	目安値 実績値 評価	4 5 順調	5 5 順調	5 6 順調	6 1 遅れている	新たな利用者が無かったため、減少した。 計画最終年度においては、前年と比較すると利用者は増えているが、目標の達成は難しいと見込まれる。	母子家庭等の経済的な自立を支援するため、広報やHPでの諸制度の周知を図ることにより利用拡大を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移										結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度							
46			びんころステーション延べ参加者数	人/年	1,715 [H22]	2,000	目安値	1,772	1,829	1,886	1,943	野沢山門市で実施しているステーションを栄養士会に委託したことや、地域集団検診の結果報告会での栄養指導として行っていたものが内容変更により実施されなくなったことにより、目安値には達していない。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	保健指導員とタイアップした講座など実施箇所の拡大を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。			
47	421	健康増進	3歳児のむし歯保有率	%	26.71 [H22]	20.00	目安値	25	24	23	21	むし歯判定の基準について、長野県の通知により、平成25年度から「サホライド塗布歯」の扱いを、サホライド塗布の有無ではなく、脱灰の有無により判定をすることとなったため、むし歯保有率が高くなり、目安値を下回っている。経年の変化を見ると、子どもの歯の教室等の実施により、改善傾向にあるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	「2歳児歯っぴー教室」等、様々な機会を有効に活用し、むし歯保有率の減少を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。			
48	422	保健活動	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	目安値	23	21	19	17	特定健診・特定保健指導の実績集計は毎年、次年度の10月末に国保連の統計データから抽出されるため、現時点では算出されていない。ここ数年の傾向では、ほぼ横ばいとなっている。医療機関での個別健診や人間ドックなどの受診者に対しては、事後指導や特定保健指導の実施が難しいといった課題もあり、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の減少まで至っていない。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	「新しい保健」で提言されている早期発見・重症化予防を推進するために、健診受診後のフォローを行う。また、喫煙・食生活・運動などの生活習慣を改善する一次予防活動や特定保健指導を中心に、保健指導の充実に努める。医療機関との連携を図り、指導スタッフの力量形成も行っていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。特に対象者が自覚を持てるよう工夫をされたい。			
							実績値	26.6	25.4	25.1	集計中							
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	実績値なし							

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
49	423	医療	浅間総合病院第二次整備事業進捗率	%	0 [H22]	100	目安値	20	40	60	80	1期工事・2期工事に分けて建物を建設し、壁紙等の変色を防止するために、内装工事は1期・2期合せて最後に実施する予定のため進捗率は55%になっているが、予定どおり平成29年1月にはしゅん工、3月から運用開始の予定であり、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	病院建設については、引き続き各工事が工期内に終わるよう監督・検査を行っていく。また、院内の引越しや開院式についても関係各科(課)と連携を図り準備を進める。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれない。	
							実績値	4.6	7.0	18.0	55.0					
							評価	やや遅れている	遅れている	遅れている	やや遅れている					
50	424	医療保険・国民年金	国民健康保険税収納率(現年課税分)	%	90.26 [H22]	100	目安値	92	94	96	98	督促・催告状の発送・臨戸訪問・全職員での滞納整理、未申告者への申告勧奨を継続的に行うことにより収納率は改善がみられるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	専任徴収員や全職員での滞納整理・臨戸訪問を行い滞納者との早期折衝を図り、併せて滞納処分を強化する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
							実績値	91.78	93.48	93.48	93.57					
							評価	概ね順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている					
51	431	母子保健	こんにちは赤ちゃん事業における新生児訪問率	%	96 [H22]	100	目安値	97	98	98	99	こんにちは赤ちゃん事業について、出生届出時等で周知し、高い訪問率を維持できている。訪問拒否・不要の場合もあるが、電話で様子を聞き、健診で確認をしている。連絡がつかない場合は、他部署と連携し安否確認をした上で健診で児の健康状態等を確認している。転出予定がある等、個々の事情により訪問できない場合があり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	生後4ヶ月以内に訪問できるよう、さらに取組を強化していく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
							実績値	97.80	98.00	98.00	98.00					
							評価	順調	順調	順調	やや遅れている					

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
52	432	子育て支援・児童福祉	子育てサロンの延べ利用者数	人/年	7,908 [H22]	8,300	目安値実績値	7986	8,065	8,143	8,222	少子化の影響や、3歳児未満の保育需要の高まりなどにより、利用者が減少している。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	育児不安の軽減を図るため、利用者アンケートの結果や要望を検討し、事業内容を工夫する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
評価			順調	順調	順調	遅れている										
目安値実績値			8,753	8,857	8,261	8,029										
53	432	子育て支援・児童福祉	つどいの広場の延べ利用者数	人/年	15,099 [H22]	15,800	目安値実績値	15,239	15,379	15,520	15,660	参加者から要望の多い講座を実施することにより、参加者が増加した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	H28年度から開催場所を増やして実施する。実施内容についても利用者からの意見やアンケートを参考に工夫し、今まで以上に身近な場所で気軽に利用できる事業として実施する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	
評価			遅れている	遅れている	やや遅れている	順調										
目安値実績値			14,370	14,206	15,264	16,986										
54			児童館の延べ利用者数	人/年	303,975 [H22]	319,000	目安値	306,980	309,985	312,990	315,995	新小学校の開校に併せ、児童館が1か所増えたことと、児童館行事に子どもたちが企画や運営に参加することにより親しみやすい児童館運営を行った結果、児童数が減少する中、利用者は増加した。しかしながら、目標値に対しては大きく遅れており、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	今後も児童に行事の企画に参加してもらうなど、児童が継続的に楽しく来館できるような工夫を図るとともに、地域ボランティアとの連携や、各種研修への参加等による児童館職員の質の向上を図り、保護者が安心して子どもを児童館に通わせられる環境づくりに努める。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。また、利用者数の増加だけでなく質の向上にも取り組まれたい。	
実績値			280,265	273,510	277,110	288,516										
評価			遅れている	遅れている	遅れている	遅れている										

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
55	511	環境保全	市内家庭の総消費電力	MWh/年	239,143 [H22]	191,315	目安値 実績値 評価	229,577 234,346 概ね順調	220,012 232,069 やや遅れている	210,446 227,254 やや遅れている	200,881 219,159 遅れている	省エネやクールシェア・ウォームシェア等の啓発により、市民生活においても省エネ行動は意識され、総消費電力量は着実に減少しているが、日常において一定のエネルギー量は必要であり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	佐久市地球温暖化対策実行計画の地域編となる省エネルギー行動計画を策定し、具体的な目標を定める中で、家庭でできる取り組みや学校教育における環境学習メニューの充実を図り、温室効果ガスの排出削減に向けた省エネルギー行動を促進する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
56	512	街並み緑化・公園・景観形成	平尾山公園の入場者数	人/年	411,947 [H22]	420,000	目安値 実績値 評価	413,558 386,238 遅れている	415,168 348,927 遅れている	416,779 332,810 遅れている	418,389 238,105 遅れている	H27は平根発電所改修による施設の閉鎖、酷暑や暖冬の影響により利用者が大幅に減少した。計画期間を通して減少傾向であり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	平成28年12月にセンターハウスの改修、隣接地に温水利用型健康運動施設がオープンする。相互施設の連携を図り指定管理者と協議し利用者の増加に繋げていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
57			都市公園の整備面積	m <sup>2</sup> /人	7.94 [H22]	9.82	目安値 実績値 評価	8.32 8.11 順調	8.69 8.49 概ね順調	9.07 8.76 やや遅れている	9.44 8.76 遅れている	佐久総合運動公園の整備を進めているが、公園の整備面積の増加はなく、実績値は昨年と同様であった。計画最終年度においても佐久総合運動公園整備を進めるが、新たな公園面積の増加は見込めず、目標の達成は難しいと見込まれる。	佐久総合運動公園に計画されている野球場とクロスカントリーコースの整備を進めるとともに、一本柳地区の街区公園の整備を推進する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
58	521	環境衛生	家庭系ごみの排出量	t/年	21,384 [H21]	19,591	目安値 実績値 評価	21,025 20,297 順調	20,667 19,621 順調	20,308 19,487 順調	19,950 19,468 順調	生ごみの堆肥化、雑がみの資源化の周知徹底により可燃ごみが減少している（前年度に比べ141 t 減少）。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	生ごみの堆肥化、雑紙の資源化による可燃ごみの減量化とごみ分別の徹底について、広報やホームページ等を活用し啓発する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	
59			事業系ごみの排出量	t/年	5,296 [H21]	4,670	目安値 実績値 評価	5,171 5,754 遅れている	5,046 5,705 遅れている	4,920 5,725 遅れている	4,795 5,640 遅れている	可燃ごみは、前年度に比べ80 t 減少（△1.4%）しているが、依然資源化可能な紙類が可燃ごみに多く含まれているため、目標達成には大きく遅れている。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	事業系ごみ袋販売の際に市役所窓口で分別徹底の指導や、焼却施設への搬入ごみ検査、前年度比排出量増加事業所への訪問指導するなど、ごみの減量と資源化の啓発を強化する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移										審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	結果の分析	今後の方針	備考	
60	522	上水道	上水道有収率	%	84.0 [H22]	90.0	目安値	85	86	88	89	老朽化した施設等による漏水の調査等の有収率向上対策を促進している効果により改善が見られるが、目標達成には大きく遅れている。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	水資源を有効に活用するため、漏水防止の施策に継続して取り組み、漏水量の低減を図るとともに有収率の向上に努める。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。
実績値			84.2	83.7	83.8	84.4	評価	やや遅れている	遅れている	遅れている	遅れている				
61	522	上水道	水源余裕率	%	16.2 [H22]	22.0	目安値	17	19	20	21	水源余裕率が増えた要因は、節水意識の向上や人口減少と思われる。年間使用量の減少に伴い、1日最大配水量が減少し、確保している水源水量の余裕ができた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	将来に向け安定した水の供給を維持していくため、適正な水源水量の確保に努める。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まされたい。
実績値			16.9	16.4	20.3	22.8	評価	概ね順調	遅れている	順調	順調				
62	523	下水道	下水道整備面積	ha	2,931 [H22]	3,032	目安値	2,951	2,971	2,992	3,012	平成27年度は西屋敷地区、荒宿地区などの整備を行い面積は増加しているが、現在農集、コミブラ地区と公共下水道の統廃合事業を優先しており、下水道整備面積は目標値を下回っている。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	財政面も含めて未整備地区の優先順位を考慮し、整備促進を図っていく。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。
実績値			2,946.3	2,952.8	2,955.9	2,958.0	評価	概ね順調	やや遅れている	やや遅れている	遅れている				
63	523	下水道	水洗化率	%	86.9 [H22]	90.9	目安値	88	89	89	90	未接続区域への整備が進み、宅内工事をする世帯が増加したため、水洗化率は順調に伸びている。既に目標値の達成が図られている。	公共下水道区域の未接続世帯を対象に戸別訪問を実施し、水洗化の促進を図る。	達成	今後も引き続き施策の充実に取り組まされたい。
実績値			89.5	90.6	91.5	92.6	評価	順調	順調	順調	順調				
64	523	下水道	下水道使用料収納率(現年分)	%	96.8 [H22]	100	目安値	97	98	99	99	現年度分収納率は年々伸びているものの、一部の未納者が固定しているため、決定的な収納率向上に繋がっていない。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	引き続き収納率向上を図るため、民間の技術や経験の活用を図るとともに、上水道関係機関との連携強化を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。
実績値			97.11	97.09	97.17	97.25	評価	順調	やや遅れている	やや遅れている	遅れている				

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
65			自主防災組織設置区数	区	230 [H22]	239	評価	232	234	235	237	地域の防災意識の高まりにより多くの自治会で組織形成されたが、様々な事情により組織形成をしていない自治会もあり目安値には達しなかった。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	自治会の役員などに、組織を形成することの大切さを、出前講座や、合同訓練などを実施しながら呼びかけて行く。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
					実績値	232	233	235	235							
					評価	順調	概ね順調	概ね順調	やや遅れている							
66	611	防災	地域自主防災訓練実施区数	区	143 [H22]	239	評価	162	181	201	220	東日本大震災後、市で作製したハザードマップを全戸配布するなど、防災意識の高揚に努めたところ、訓練実施区数は増加傾向にある。しかしながら、訓練内容がワンパターンであるといったことから継続した訓練実施が行われないなどの課題もあり、目安値には達していない。増加傾向にあるものの遅れており、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	訓練の大切さや、必要性を理解してもらえよう、関係機関などと協議し、広域的な訓練も視野に入れ実施できるよう検討する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
					実績値	134	122	145	160							
					評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている							
67			消防団協力事業所数	事業所	57 [H22]	100	評価	66	74	83	91	消防団協力事業所に対する県税の優遇制度・市の入札優遇制度の効果や災害時における消防団活動の重要性が広く理解されたことにより、既に目標値の達成が図られている。	目標値に達してはいるが、今後も消防団協力事業所の募集について、引き続き呼び掛けを行っていく。	達成	今後も引き続き施策の充実に取り組まされたい。	
					実績値	93	96	101	110							
					評価	順調	順調	順調	順調							
68	612	消防・救急	火災発生件数	件/年	61 [H22]	25	評価	54	47	39	32	火災予防のピラ配布、一人暮らし老人への火災予防週間、気象乾燥時の野焼注意の広報等の予防消防活動により、建物火災が前年比9件の減少(H27:20件)、その他(野火等)火災も6件減少(H27:24件)した。住民の火災に対する注意の高まりが発生件数の減少につながったと考えられる。発生件数の減少に努めるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	今後も防火訓練や広報活動の実施により、市民や事業所の防火意識の高揚を図る。		効果的な防火意識の啓発に努めるとともに、引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
					実績値	64	43	68	48							
					評価	遅れている	順調	遅れている	遅れている							
69	613	交通安全	交通安全大会、各種講習会などの延べ参加者数	人/年	10,442 [H22]	16,000	評価	11,554	12,665	13,777	14,888	市内幼稚園、保育園、小中学校及び各地区老人クラブに安全教室開催の要請を行った結果、2年連続の参加者増となった。しかしながら、目安値には達しておらず、大幅な増加は困難なため、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	老人クラブ等と連携した交通安全教室の開催、高齢者宅への家庭訪問等効果的な啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
					実績値	15,563	11,068	12,968	13,202							
					評価	順調	やや遅れている	概ね順調	やや遅れている							



第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
70	614	防犯	犯罪発生件数	件/年	1,079 [H22] (852)	835 (660)	目安値 実績値 評価	1,030 (814) 872 (686) 順調	981 (775) 933 (717) 順調	933 (737) 738 (573) 順調	884 (698) 710 (524) 順調	振り込み詐欺等の特殊詐欺事件は増加傾向にあるが、刑法犯全体では減少傾向にあり目安値を大きく下回っている。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。 (値は佐久警察署管内値のため。カッコ内に佐久市内値を記載)	夜間の犯罪防止のための防犯灯設置をはじめ、地域と行政が一体となった防犯体制及び活動の更なる充実を図る。また、特殊詐欺事件対策として、警察、防犯協会等と連携し、被害防止を図る。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	
71	615	消費生活	消費生活展、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	35 [H22]	60	目安値 実績値 評価	40 26 遅れている	45 31 遅れている	50 37 遅れている	55 33 遅れている	老人クラブなどの団体に消費者被害防止講習会の開催の要請を行ったが、必要性の周知や広報不足から例年並みの開催数に留まり、大幅に増加させることができなかった。他のイベント時に合わせた消費者被害防止の啓発を行うなど開催方法の検討を進めるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	老人クラブを始め多くの団体等に消費者被害防止講習会の開催要請を行い、消費生活のトラブルに関する知識の普及や意識の高揚を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
72			佐久市市民活動サポートセンター登録団体数	団体	- [H22]	300	目安値 実績値 評価	60 97 順調	120 120 順調	180 139 概ね順調	240 163 遅れている	広報活動を行ったため、登録団体数は増加したが、年間に登録する団体数は横這いであり、目安値には達していない。今後も広くPRし、登録の推進を図るが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	ホームページ、フェイスブック、機関紙等を活用して広くPRし、新しく立ち上げる団体の登録を推進する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。	
73	621	協働のまちづくり	佐久市まちづくり活動支援金事業を活用する団体数	団体/年	- [H22]	10	目安値 実績値 評価	2 6 順調	4 1 やや遅れている	6 13 順調	8 16 順調	平成26年度に交付対象経費が20万円以上の高額補助枠と、20万円以下の少額補助枠を設け、市民が利用しやすいように見直しを行ったところ、引き続き活動団体が増加した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	より多くの団体を支援するため、まちづくり活動支援金事業の積極的なPRを行う。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	
74			各審議会など全体公募委員割合	%	3.2 [H22]	10.0	目安値 実績値 評価	5 5.4 順調	6 5.4 概ね順調	7 5.6 やや遅れている	9 9.3 順調	市民参加型市政の推進により、市民の関心が高まっており、公募委員割合は上がっている。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	各種審議会の市民公募委員枠の拡大を図るとともに、審議会の日程等をホームページやSNSを活用し、市民へ情報提供を行い市政参加を促進する。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。	

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	審議会意見
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
75	622	コミュニティの育成	区への加入率	%	87.57 [H22]	90.00	目安値実績値 評価	88 遅れている	89 遅れている	89 遅れている	90 遅れている	90 遅れている	都市化の進展とともに、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にある。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	区への加入は本人の意思が優先されるため、コミュニティの維持強化の重要性の周知をすることともに、魅力あるコミュニティ活動を支援するため、引き続き区の活動費等に対して交付金を交付する。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。
76	623	公共施設	新規指定管理者制度導入施設数	施設/年	1 [H22]	1	目安値 実績値 評価	1 3 順調	1 1 順調	1 1 順調	1 3 順調	3 順調	グループホームしおなだ、佐久南交流拠点施設、臼田健康活動について、指定管理者制度を導入した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	指定管理者制度を適用させることにより、市民サービスの向上や経費の節減等が図れることから、積極的な制度の導入に向けた調整を行っていくとともに、より多くの民間事業者の参加を促すことができるよう制度の見直しを進めていく。	達成見込み	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。
77	624	行財政	市税収納率(現年課税分)	%	97.25 [H22]	100	目安値 実績値 評価	97.80 97.86 順調	98.30 98.26 概ね順調	98.90 98.38 概ね順調	99.45 98.53 やや遅れている	99.45 98.53	専任徴収員による戸別訪問徴収の実施や換価性の高い債権(給与、預貯金等)の重点的な差押え等を行っており、上昇傾向にはあるが、目安値には達していない。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	税負担の公平性と自主財源確保のため、課税客体の的確な把握に努めるとともに、納税環境の整備を図り、納税者の納税意識の高揚と収納率のさらなる向上を図る。		引き続き目標の達成に向け、今後の方針を踏まえ努力されたい。
78	625	広域連携	定住自立圏による事業実施数	事業	- [H22]	25	目安値 実績値 評価	5 31 順調	10 32 順調	15 32 順調	20 32 順調	20 32	圏域住民の生活の利便性の向上や圏域全体の活性化のため、佐久地域定住自立圏共生ビジョンに基づき事業実施しているが、構成市町村との調整により、多くの事業を同ビジョンに盛り込むことができ、既に目標値の達成が図られている。	現在の佐久地域定住自立圏共生ビジョンが平成28年度までのため、平成29年度からの新たなビジョンの策定に向け、事業数の増加や事業内容の充実なども含め、既に構成市町村と調整に入っている。引き続き圏域の活性化と人口の確保に向け、取組を推進していく。	達成	今後も引き続き施策の充実に取り組まれたい。

第一次佐久市総合計画後期基本計画「チャレンジ!!」の進行状況(まとめ)

※ 事務局による類型  
 ■:A 「チャレンジ!!」達成済  
 ■:B 具体的取り組みを実施中  
 □:C 未着手(取り組みを検討中)

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
111	文化・芸術	文化関連施設が連携して、新たな事業に取り組むことにより、施設の魅力を高め、利用者の増加と文化振興を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	連携可能な施設で共催の事業を実施した。特に、貸館系施設において自主事業を増やしたことにより観覧者の増加につながった。	館長会議は継続し、施設が連携した取り組みを充実させる。案内パンフレットを管内小中学校等へも配布するなどの、広報活動に努める。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
112	地域間交流・国際交流	交流人口創出プログラムの実施により、1000万交流圏の観光・文化・スポーツ交流拠点づくりを推進します。	B 具体的取り組みを実施中	移住等希望者への様々な情報発信により、移住交流の促進を図った。また、友好都市等との交流事業では、首長、議長はもとより、民間レベルでの各種交流事業を促進した。	空き家バンクの充実により、移住等希望者の受け入れを図る。また、友好都市等との各種交流事業の推進により、交流人口の増大を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
113	人権尊重社会	すべての市民がお互いを尊重し、思いやる差別事象0(ゼロ)のまちを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・差別事象ゼロを目指し、小学生を対象とした「人権の花運動」(H27は4校)や、広く市民を対象とした人権同和教育講座(参加者507人)を開催した。また、教職員やPTA・企業の皆さんを対象とした研修会等を開催し人権意識の醸成を図った。 ・隣保館では生活文化の向上と、人権意識の高揚、住民福祉の向上を目指し、啓発・広報活動の実施及び各種教室を開催し交流を行った。生活相談員の配置により相談体制の充実・強化を図った。	・差別やいじめ、虐待等による人権侵害をなくすため、各種事業を推進し、人権感覚の醸成と意識改革を図っていく。 ・隣保館では各種事業において啓発活動を推進し、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図っていく。また、生活相談員による相談体制の充実を図っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
114	男女共同参画社会	DV被害にあった時に、市役所に相談窓口があることを知っている市民の割合が100%になることを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	佐久市ホームページ及び広報を通じて女性相談窓口を周知した。その他、他課や他機関が発行・掲載している相談窓口情報を活用して周知を行った。また、国や県、医療機関からの照会に対し、女性相談員の配置についてPRした。	今後も様々な媒体及び庁内や県、圏域のネットワークによる連携を図り、啓発を行っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
122	学校教育	中学校区ごとの教育推進会議を中心に、小学校から中学校に子どもたち一人ひとりの教育成果・課題をスムーズに引き継ぎ、小中学校間で指導の方針や方向を共有して、義務教育9年間の学びの充実を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	中学校区ごとの教育推進委員会の開催を推進し、小中学校間での日常的な交流の推進を図った。特に、中学校の英語科教師とALTによる小学校での出前授業、中学校区内の小中学校教師の合同研修など中学校区ごとに工夫して取り組んだ。	中学校区ごとの取り組みを継続するとともに、市教育委員会では、児童生徒の一層の学力向上を願い、学力向上会議、(小中学校)研究主任会議などを通じて教師の指導力の育成を図っていく。また、一人でも多くの不登校生が学校に戻ることができるよう不登校となっている子どもたちを温かく支援していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
123	高校教育・高等教育	本市の環境を生かした高等教育機関の誘致など、高等教育機会の拡充を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	高等教育機会の拡充策として、奨学金の貸付を通じた高等教育への就学支援を行った。	高等教育機会の拡充を推進するため、奨学金制度がさらに活用されるよう検討する。また、市内高等教育機関との連携を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
124	青少年の健全育成	家庭・学校・地域・関係団体との連携を強化し、青少年を健全に育成する地域ぐるみの取り組みを充実させます。	B 具体的取り組みを実施中	家庭・学校・地域・関係団体との連携を強化するためには、育成推進員・補導委員の資質の向上が不可欠であり、そのために、研修会や関係団体との合同活動等を実施した。また、青少年健全育市民集会を開催し広く市民に啓発した。	今後も研修会や合同活動等の場を提供し、育成推進員・補導委員が地域で十分な活動が出来るよう支援することで、取組を充実するとともに、引き続き青少年健全育市民集会を開催し市民に啓発していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
131	生涯学習	周辺市町村との連携により、公共図書館の広域ネットワークの構築を目指します。	C 未着手(取り組みを検討中)	佐久地域定住自立圏検討部会(社会教育部会)において、定住自立圏により推進する具体的取組としての項目であるが、構成各市町村において、独自のシステムの構築・導入が進んでいる中、取り組まないとした市町村も多く、すぐに取り組むことは難しい状況である。 県での横断検索システムや、公共図書館間における相互貸借の機能が確立されている中、現状やネットワークシステムの構築の必要性等について確認、検討した。	各市町村において、図書館システムの構築方法、契約年数等、また利用登録についての制限等の違いや意向があるため、現状では難しい状況である。今後、時間をかけ検討する。	具体的な取組に着手できるよう、引き続き協議を進められたい。
132	スポーツ	全国大会などで活躍が期待される競技者の育成を促進するとともに、一流のスポーツに触れ感動する機会の充実を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	スポーツの指導者研修の実施(年2回)やスポーツ少年団のリーダー研修(年1回)を実施した。 スポーツイベントとして、AC長野パルセイロVS松本山雅FCのトレーニングマッチやサッカー日本代表OBを招いてのドリームサッカーを開催し、5,400人余りが一流スポーツに触れる機会を創出した。	スポーツ指導者のスキルアップに向けた研修を続けるとともに、全国大会等出場への激励金制度の見直し等の検討を行う。一流スポーツに触れる機会を企画立案していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
211	高速交通ネットワーク	松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	松本地域、小上地域及び佐久地域を地域高規格道路で結び、各地域の交通と産業経済の発展を図るため、関係団体によって同盟会を組織し、要望活動を行った。	整備には、県が地域高規格道路の候補路線として位置付けることが前提となることから、関係市町村と連携を密にした取組を進めていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
212	地域交通ネットワーク	市民の日常生活に必要な交通移動手段を確保・維持するため、民間交通事業者、市民と一体となって地域公共交通の充実に取り組みます。	B 具体的取り組みを実施中	運行状況の検証、利用者等からの停留所の追加、運行経路の一部変更、巡回バス展示広報、乗車ヒアリング等の各種調査等に努めてきたことと、平成26年10月のデマンドタクシー土曜日の運行開始等のダイヤ改正の効果から、平成27年度中の延べ利用者数は、104,871人と前年度より増加した。引き続き多くの市民に公共交通利用促進を理解していただき増加傾向を維持していくことが課題である。	今後、更に高齢化社会の進展等による公共交通の需要は高まっていくと予想されることから、利便性の向上や市民ニーズを踏まえ、新たに「佐久市地域公共交通網形成計画」を策定し、将来にわたって持続可能な効果的・効率的な公共交通体系を構築する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
221	土地利用	産業の活性化、雇用の増大を目指し、土地の有効利用を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	国土利用計画の方針に沿って商業集積及び企業誘致が図られるよう市内適地について、全庁横断的な体制で、協議・検討を行った。	中部横断自動車道の佐久南IC以南の開通や北陸新幹線の延伸により、商業集積及び企業誘致に好機となる時期であるので雇用増大につながる土地利用を全庁的に推進していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
222	市街地	都市計画マスタープランに基づき、地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。	B 具体的取組みを実施中	市内6箇所ですでに地区計画区域内における行為の届出に基づき、適合審査を行った（平成27年度審査実績17件）。また、良好な市街地の形成、生活環境の保全を図るため、開発者に対して、佐久市開発指導要綱に基づく適正な指導を行った（平成27年度審査実績32件）。	引き続き、地区計画及び開発指導要綱に基づく適切な開発指導を行う。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
223	住宅・宅地	公営住宅の管理方法について、指定管理者や管理代行制度などを研究し、効果的な手法を導入します。	B 具体的取り組みを実施中	市営住宅1,082戸（公営住宅834戸、改良住宅63戸、厚生住宅127戸、特定公共賃貸住宅26戸、その他住宅32戸）の緊急修繕、計画修繕等の維持管理及び使用料徴収等を管理代行や指定管理により長野県住宅供給公社に委託した。	今後も委託先である長野県住宅供給公社と連携を図り、市営住宅入居者の住環境の保全と、使用料徴収率の向上を目指す。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
231	高度情報通信ネットワーク	市内の（市外でも）どこでも市役所とつながる、「電子自治体」を実現します。	B 具体的取り組みを実施中	庁内LANによる周知とともに、直接勧奨により電子申請システムの活用促進を図った。 H25年度実績 28項目 申請件数1658件 H26年度実績 31項目 申請件数 771件 H27年度実績 27項目 申請件数 777件	電子申請を活用できていない部署へ、活用促進の勧奨をする。 平成30年度、電子申請システム共同利用の更新を向かえるが、次期電子申請システムは各部署が現在より更に活用しやすいシステムが導入できるよう、調達元（長野県市町村自治振興組合）へ要望する。 自治体クラウドへの参加を検討する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。

### 第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
311	農業	本市の風土や条件に適した新品目の導入を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	新品目導入試験ほ場において、実証試験栽培をしてきたカモミールについて、JA佐久浅間において17人が加入し生産部会が発足した。また、優良品種選定試験においてミニトマト2品種など有望な品種が選定され普及が開始された。	新規就農者に向けた講習や、技術指導会の実施を始め、より多くの品目が普及できるよう、市の施設などでPRを行っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
312	水産業	佐久鯉の消費拡大のために、新しい調理法や新商品を開発します。	B 具体的取り組みを実施中	鯉の消費が冬の需要期以外でも伸びるよう、広報紙におけるメニュー提案を実施した。	水産業全体の活性化が図られるよう、鯉に加え、水田鮒の生産拡大を目指した事業展開を開始する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
313	林業	地場産材であるカラマツ材などを公共施設などに活用し、地場産材の利用を推進します。	B 具体的取り組みを実施中	平成24年度に策定した「佐久市公共建築物・公共土木等における木材利用促進方針」に基づき、市が行う公共事業は、出来る限り地域材を利用することを関係課へ周知したことにより、施設建設の際に地域材が利用された。	市が実施する公共事業における地域材利用の推進により、需要の創出を図るとともに、森林整備を促進していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
321	商業・サービス業	商店会組織の機能強化と活性化を図り、地域商店街の魅力を向上させます。	B 具体的取り組みを実施中	商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じ融資の手続きを進めた。また、成果の把握に留意し、商店街組織の行う「まちおこし事業」等に対する支援を継続して行った。今後も既存商店街と地域の活性化に配慮した商業集積を図るため、空き店舗の有効活用を推進する必要がある。	国内の景気は回復傾向にあるものの、地方経済への波及効果は遅れており、商工業者の経営は厳しい状況が続いている。引き続き、商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じた施策を進めることで、地域商店街の魅力を向上させ、地域経済の活性化を推進する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
331	観光	市民交流ひろばを活用した大型観光イベントを実現します。	B 具体的取り組みを実施中	北陸新幹線開業に伴う北陸方面への観光宣伝として、熱気球を使ったイベント参加を実施した。軽井沢からの誘客として、FM軽井沢の出演や観光施設などへの誘客PRを実施した。各種連絡協議会等の広域的連携による観光宣伝を実施した。市民交流広場でのバルーン搭乗体験による誘客宣伝を実施した。	首都圏、北陸方面、中京圏などの各種イベントに参加したうえで、積極的に観光誘客宣伝を実施していく。また、協議会等を有効に活用し効果的なPR活動を進めていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
341	工業	企業立地を実現させるとともに、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	企業立地については、産業立地推進員の企業訪問や迅速な対応の結果、平成27年度は2社の立地に成功した。しかし、後期基本計画で設定したチャレンジ内容の「医療関連企業の集積」には至らなかった。工業振興においては、ものづくり支援事業や販路拡大事業により既存企業の新産業創出のための支援を行った。	今年度予定している佐久市健康長寿産業振興協議会の設立や佐久市健康長寿産業振興ビジョンの策定により、既存企業による医療、福祉関連産業の創出を新たに図っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
351	就労・雇用	地域内の働く場と雇用機会を確保し、新規学卒者の地元企業への就職を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	就職支援員による企業、学生等のニーズ把握や分析により施策の改善を図るほか、社会情勢に対応した支援策を検討した。	就職支援員による関東圏の大学、短大等への訪問により、市内企業のPRを進めるとともに、ハローワーク等の関係機関と連携する中で、雇用の創出を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
411	福祉のまちづくり	全地区が災害時住民支え合いマップを完成し、必要に応じて見直し更新を行います。	B 具体的取り組みを実施中	支え合いマップ作成の必要性を民生児童委員に説明し、マップ作成を依頼することにより、平成27年度末において、240区中236区でマップが作成された。残り4地区については現在作成中である。	今後も社会福祉協議会等を通じて、マップ未作成の地区において作成を促進する。また、作成された地区においてはその見直しを進めるとともに、災害時に区長や民生委員と連携し、支え合いマップが有効に活用できるように、マニュアル整備など関係者と検討していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業を通じ、健康寿命を延ばします。	B 具体的取り組みを実施中	介護予防事業を23事業実施した。そのうち、後期高齢者の介護予防や健康の維持増進について指導を行う「75歳・80歳おたっしや訪問指導（80歳おたっしや訪問指導については、基本調査の廃止に伴い平成27年度より追加実施）」は1,710人に対して実施することができた。一般高齢者向けの参加型事業は、「はつらつ音楽サロン」「転倒骨折予防事業」「スクエアステップ教室」等8事業を実施し、実人員は2,198人の参加があった。また、保健師・栄養士・理学療法士が地区に出向き、介護予防の講話や実践指導を行った。	医療・介護・保健・福祉の各分野の連携を図り、高齢者が自立した生活ができるよう支援をする。また、高齢者自身が支え手になり、介護予防を実践していける体制を整備・推進する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
413	障がい者福祉	障がい児・者及び家族に対するライフステージに応じた一貫した相談支援体制の充実を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	指定特定相談支援事業所・相談支援専門員の拡大について、事業所連絡会及び佐久圏域事業所連絡会等において、研修会の受講と指定特定相談支援事業所の開設等について事業所に働きかけた（平成27年度末相談支援事業所数15、相談支援専門員31名）。発達障がい及び心身の発達の気になる児童に対し、成長段階ごとに関わる支援関係者が情報を共有し、一貫した支援ができるためのツールとして作成した「サポートブック虹のかけはし」を希望者に配付した。	障害福祉サービス利用者に対して、障がい者の社会参加・就労支援のための相談支援体制を充実させるため、引き続き相談支援事業所連絡会等において相談支援専門員の研修の受講についての依頼をしていく（目標数値：平成29年度相談支援事業所数20、相談支援専門員33名）。「サポートブック虹のかけはし」については、今後も周知及び活用の推進を図るとともに、内容の見直しを図っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
421	健康増進	食育を通して食を大切にすることを育み、朝食を毎日食べる小学生・中学生の割合を100%にします。	B 具体的取り組みを実施中	佐久広報における啓発活動、小学校での健康ポイントミニ講話、さくさく食育応援隊による幼児対象の食育活動を実施し、朝食摂取の必要性等を啓発した。	保育園や学校において、食育応援隊による食育活動を強化していく。市民全体に食育の必要性を啓発する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
422	保健活動	住みやすい社会を目指し、多様な悩みを抱える方を支援する絆を拡大するなど、「生きるための支援」に取り組むことにより、自殺者0人を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	毎日の電話相談事業として平成26年よりフリーダイヤル化した「こころのほっとライン佐久」を実施した。また、「ゲートキーパー養成講座」・「心の健康づくり講座」を開催するとともに、「自殺予防のための相談窓口一覧パンフレット」の改訂や「自殺予防のための相談窓口カード」を作成し、自殺防止の啓発活動を行った。	今後も相談事業は継続するとともに、関係機関、周辺市町村とも連携して啓発活動を実施する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
423	医療	市民・地域・医療機関との連携・協力を進め、日常の生活圏において必要なときに必要な医療サービスを受けることのできるよう地域に密着した地域完結型医療を構築します。	B 具体的取り組みを実施中	平日夜間や休日小児の初期救急医療を確保するため、浅間総合病院内に急病診療センターを開設している。また、初期救急から3次救急までの安定的な医療提供体制を確立するため、佐久総合病院再構築を支援するとともに、佐久医療センターと他の医療機関の役割分担について、市民理解を得る取組を進めてきた。	今後も急病診療センターを継続して開設する。医療連携協議については、佐久医療センターと他の医療機関の役割分担が明確になる中で、医療の安定供給を促すための連携協議を継続するとともに、正しい医療機関のかかり方等について、引き続き市民に対する啓発活動を継続する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
424	医療保険・国民年金	特定健康診査の受診率を65%まで引き上げます。	B 具体的取り組みを実施中	受診の必要性についての啓発に力を入れ、広報誌掲載(3回)やFMさくいだいらの「佐久市からのお知らせ」出演(1回)による呼び掛け、未受診者に対する電話(400件)・はがき(13,374通)による呼び掛け、10月の受診勧奨月間に合わせた街頭PRのほか、被保険者証一斉更新時に啓発チラシの同封などを行った。受診率は36.0%(H26確定値)から39.3%(H28.6末現在見込値)へ上昇しており、引き続き啓発活動を実施していく。	若い世代の受診率が低いことから、これまでの取組と合わせ、引き続き未受診者が多い若い世代が多数所属する商工団体や、JA団体及び各種団体が行う会合等に出向き、健診の重要性を伝える取組に力を入れていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
431	母子保健	父母への啓発活動の強化などにより、乳幼児健診受診率100%を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	乳幼児健診で愛着形成を視点においた指導、助言、衛生教育を実施した。受診率向上のため、きめの細かい周知や個別の連絡に取り組んだ。	母子保健事業は、子どもを安心・安全に産み育てるための基本事業であるため、今後も社会情勢等の状況を踏まえ、事業を展開していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
432	子育て支援・児童福祉	本市の合計特殊出生率を1.6から1.9まで伸ばします。	B 具体的取り組みを実施中	子育て支援事業は134の各種事業を実施した。その中でも、つどいの広場事業は、地域の子育て支援拠点施設として、子育て中の親子の交流の機会や子どもの遊び場の提供、また、子育て専門相談員による子育てに関する悩みの相談・助言など、育児不安解消に向けた支援の充実を図ることができた。また、延長保育や一時保育、障害児保育、休日保育等についても、多様なニーズに対応した保育サービスを提供することができた。	合計特殊出生率の向上を図るため、今後も各種施策を実施することにより、安心して生み育てることができる子育て支援環境を提供していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。



第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
511	環境保全	市内の自然エネルギーを用いた電力自給率、3%を目指します。	A 「チャレンジ!!」達成済	平成27年度末現在、市内における自然エネルギーを用いた電力自給率は11.06%となり、後期基本計画に定める目標値はもとより、「佐久市環境エネルギー重点プラン」に定める目標値8%についても、計画より2年早く達成することができた。国が進める新エネルギー施策の下、市営メガソーラー発電所の建設や太陽光発電設備の設置に対する補助金の交付等、晴天率が高い本市の特長を生かした施策の成果と考える。	新たに平成29年度までの電力自給率の目標を13%と定め、引き続き太陽光や木質バイオマス、農業用水をはじめとする水力等、市内にある豊富な自然エネルギーを活用し、電力自給率を高めていく。	新たな目標が達成できるよう、さらなる努力を期待する。
512	街並み緑化・公園・景観形成	アダプトシステムによる公園管理の実施率を36%まで向上させます。	A 「チャレンジ!!」達成済	管理委託をしていた行政区等に対するアダプトシステムへの移行の働きかけや佐久広報、市ホームページで募集を行い、25年度末で27公園(43%)で実施したが26年度においては、参加団体の都合により1公園減少となってしまった(41%)。H27年度も区等に働きかけたが参加にまでは至っていない。	アダプトシステムの実施率は41%と現在も横ばい状態である。新たなアダプトシステム参加団体を確保できるように活動等をHP等で紹介しながら働きかけていくほか、必要となる用具や資材の貸与または支給を行うなど実施団体への援助を引き続き行っていく。	新たな目標が達成できるよう、さらなる努力を期待する。
521	環境衛生	1人1日あたりのごみ排出量が少ない都市、全国1位を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	家庭系ごみの減量について、生ごみ処理機等の導入に対する補助要件を緩和し普及促進を図るとともに、ごみの減量と資源化についてパンフレットを作成し全戸に配布した。また、事業系ごみについても可燃ごみ減量に関するパンフレットを作成し事業所へ配布、訪問指導するなど啓発に取り組んだ。	平成26年度の1人1日あたりのごみの排出量は690g/人・日で、前年度に引き続きごみの排出量が少ない都市全国第4位(人口10万人以上50万人未満・環境省一般廃棄物処理実態調査による)で、第1位との差は64g/人・日であるため、引き続き3R(排出抑制、再使用、再生利用)運動の推進に取り組んでいく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
522	上水道	水を自然流下方式で配ることができ、地形を生かしながら、太陽光発電を導入するなどにより、環境に配慮した水道を構築します。	B 具体的取組みを実施中	電気エネルギーなどの使用を抑制するものとして、自然流下方式を生かした配水方法を継続し、ポンプによる加圧給水は必要最低限で運用した。	太陽光エネルギー等による節電対策、自然流下方式による配水を継続し、引き続き、環境に配慮した水道の構築を促進していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
523	下水道	市内の全戸水洗化を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	平成22年度より、下水道供用開始区域の未接続世帯を対象に水洗化促進の戸別訪問を行っている。	今後も戸別訪問を継続し、未接続の理由を分析し、水洗化率の向上を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
611	防災	地域ごとの特性を考慮した防災対策を推進し、地域防災の強いまちをつくります。	B 具体的取り組みを実施中	自主防災組織は、地域コミュニティが重要であり、防災の高揚を図るために出前講座等を通じ、各地域等で積極的な講演会等を展開した。	引き続き、「自助・共助・近助・公助」の役割について、各防災関係機関及び自主防災組織の防災組織体制力の向上を図る。さらに、防災告知について、費用対効果等を検討し、充実を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
612	消防・救急	消防・救急体制を充実し、市民の財産・生命を守ります。	B 具体的取り組みを実施中	救急隊員や救急救命士の育成及び医療機関との連携を促進するとともに、消防団員に対し安全確保のための装備品や救助活動用資機材等の配備を行い、消防・救急体制の充実を図った。	佐久消防署、北部消防署の庁舎については、平成26年度に竣工し、併せて消防司令センターの整備についても平成26年度に完了した。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
613	交通安全	交通事故死者数0（ゼロ）のまちを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	幼稚園、保育園、小中学校、老人クラブ等における交通安全教室の開催、交通安全市民大会の開催、交通安全運動と連動した交通指導所の開設、自転車運転者講習制度の街頭啓発、年末の飲酒運転撲滅パトロール等の活動を関係機関団体と協力して行った。	街頭啓発活動や各種交通安全教室等を継続的に実施し、安全意識の高揚を図るとともに、通学路や事故多発箇所への安全対策を推進する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
614	防犯	地域防犯体制の充実と地域住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪のないまちづくりを推進します。	B 具体的取り組みを実施中	防犯体制については、佐久市防犯協会等の団体と連携し、地域の防犯組織が年間を通じて活動した。その活動を通して、住民の防犯意識の高揚を図った。	引き続き、行政、防犯協会、警察、教育機関、PTAなど関係機関の連携を強化し、市民総ぐるみの防犯体制、防犯環境を整備していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
615	消費生活	振り込め詐欺などの消費被害の根絶を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・佐久市消費生活センター相談員による相談業務を推進した。 ・市内老人クラブ等に対し、高齢者悪質商法等被害防止教室（30回）を開催した。	消費生活センターにおける的確な相談業務を推進するとともに、各種広報媒体を活用した情報提供と被害者に占める割合が高い高齢者に対する被害防止講習会を引き続き開催し、消費生活に関する意識を高める。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンターを拠点として、市民活動支援のための情報ネットワークを構築し、人と人を結び心豊かなまちをつくります。	B 具体的取り組みを実施中	市民活動サポートセンターを設置し、ワークショップに参加した市民で構成された市民団体に運営業務を委託した。公設民営による運営の利点を生かし、市民目線での支援業務を行った。様々な市民活動を結びつける核となることを目指し、市民活動に関する情報の収集・発信、相談・コーディネート、活動場所の提供等の業務を実施した。	今後も、情報の収集・発信、相談・コーディネート等の基幹機能の充実・強化に努め、市民を支援するために、市民活動の情報のネットワークを推進する。また、市民活動の活性化を図るため、様々な活動団体や市民の交流の機会を提供するとともに、各種講座を開催する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。
622	コミュニティの育成	一人ひとりの活力により、市民同士による共助と地域の魅力を高めます。	B 具体的取り組みを実施中	コミュニティの活性化のため、区への交付金交付を行った。区長会と行政の懇談の機会を設けるなど、連携強化に努めた。	都市化の進展とともに、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にあることから、区への活動への参加について理解が得られるよう努めていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待する。

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
623	公共施設	統廃合も含めた公共施設の適正配置と効率的な運営や維持管理を進めます。	B 具体的取り組みを実施中	平成27年度は「佐久市公共施設白書～公営企業施設編～」の作成が完了し、「最適化推進方針の策定」、「個別施設計画の作成要領等の検討」及び「公共施設等総合管理計画として統合」を進めた。	公共施設マネジメントを進めていくにあたり、市と市民が課題を共有し、互いに協力して取り組んでいくことが重要となるため、関係機関や地域で活動している住民等、多くの関係者に参画してもらう場を設け、合意形成を図っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につながるができるよう、さらなる努力を期待する。
624	行財政	自主財源の確保対策などにより、財政力指数の向上を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	財政力指数の向上のためには、自主財源の確保が重要であることから、主たる自主財源である市税等の増額を図るため、企業支援や企業誘致など仕事と雇用の確保に資する事業に対し、予算の重点配分を行った。	企業誘致等の施策が徐々に成果を上げつつあることから、今後も仕事と雇用の確保に資する事業に対し引き続き予算の重点配分を行い、「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に示す「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼ぶという好循環の確立により自主財源の増加を図ることで、財政力指数の向上を目指していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につながるができるよう、さらなる努力を期待する。
625	広域連携	佐久地域の中心市としての役割を果たし、佐久地域全体の魅力向上と一体感のあるまちづくりを進めます。	B 具体的取り組みを実施中	平成23年度に策定した佐久地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、関係市町村との連携事業を推進した。また、事業等の見直しを定期的に行い、対象事業の拡大を図り、地域全体または必要な市町村で実施した。	関係市町村との連携・協力による取組を推進し、圏域全体の生活機能やネットワークの強化を図る。佐久地域定住自立圏共生ビジョンの見直しを行い、社会情勢の変化に対し柔軟な対応をする。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につながるができるよう、さらなる努力を期待する。

## 評価の仕組みについて

### 評価方法

整理番号	部会名	指摘箇所	指摘事項等
1	第1、2、3部会	目標	目標値の中には市税の収納率100%といった現実的ではないものや、人口が減少している中で右肩上がりに人数が増加することを目標とするような始めから困難なものがある。第二次総合計画前期基本計画では現状を踏まえた目標設定が必要である。
2	第2部会	目標	農業の施策のように目標の1つの「認定農業者数」が増えることだけでは、施策全体が良くなったとは言えない。第二次総合計画前期基本計画の目標設定ではもっと施策全体を見て考える必要がある。
3	第3部会	目標	子育て支援の施策において「児童館の延べ利用者数」が目標となっているが、施策にとっては単に人数が増えるだけでなく質の向上も重要となる。第二次総合計画前期基本計画では質の向上などにも着目して慎重に目標設定する必要がある。